

自 第 1 7 5 2 号

平成 2 5 年 3 月 1 5 日

日本霊長類学会

会長 清水 慶子 様

千葉県環境生活部自然保護課長



「千葉県に生息する外来種アカゲザルとニホンザルの交雑防止に
関する要望」について（回答）

日頃、本県の鳥獣行政の推進につきましては、格別の御協力を賜り厚くお礼
申し上げます。

さて、平成 2 5 年 2 月 2 6 日付けで貴職から要望のあった標記の件について
下記のとおり回答します。

記

交雑対策の最重要課題はアカゲザルを速やかに全頭捕獲することと考えてお
り、引き続きアカゲザル生息域内での積極的な捕獲に努めてまいります。

ニホンザル生息域内については、平成 2 0 年度から平成 2 3 年度に実施した
交雑モニタリング事業により生息域全域の交雑状況を概ね把握したため、平成
2 4 年度からは、調査地点の選定などに同事業の調査結果を活用し、群れの交
雑状況等調査を実施しています。

なお、ニホンザル生息域内で他種のサルと交雑が発生したことは国内で初め
ての事例であり、環境省とも協議の上、対応について検討してまいります。

一方、遺伝子検査でも判定が難しい交雑個体の確実かつ簡便な判定法、一部
の群れの交雑状況から生息域全体の交雑状況を正確に評価する方法、交雑の進
行速度を把握する方法、ハナレザルを含めた交雑個体の効果的・効率的な排除
方法、交雑程度が低い群れの保全方法等が確立されていない状況にあることか
ら、貴学会におかれてはこれらの課題について研究を進められるとともに、本
県の交雑問題への御助言を頂けると幸いに存じます。